

あわてず安全なところに避難しよう!

避難の呼びかけがあったり、危険が近づいているときは安全な場所に避難することが必要です。

避難するときはここに注意!!

- できるだけ家族や近所の大人のひとと避難する
- 一人で避難するときは、家族にメモをのこす



- せまい道、川やがけのそばなど危ない場所は通らない
- ふだんから避難場所までの安全な道を確認しておく



- 非常時の持ち出し品を忘れずに持っていく
- ヘルメットや防災ずきんなどで頭を守る
- 火の始末をして、戸じまりをしっかりする



- 洪水のときは、そっこうやマンホールにはまらないように長い棒などで確認しながら歩く
- 水の深さがひざより上まであるときは、無理に避難せず2階など高いところで助けを待つ



家族防災会議を開こう

家族みんなで、防災について、いろいろなことを話しあってみましょう。



避難場所までの安全な道を確認してみよう



みんなの集合場所や連絡方法を決めておこう

家のまわりや部屋の中に危ない場所はないか調べてみよう



非常時に持ち出すもの考えて用意してみよう



☆覚えておこう いざというときの連絡先や避難場所

災害が起きたとき、家族と一緒にいるとは限りません。いざというときのために、家族の連絡先や避難場所を確認しておきましょう。(このページをコピーして点線を切り抜くと防災メモとして使えます)

我が家の防災メモ

氏名	年齢	血液型
住所	電話番号	
学校	学校	年 組
備考		

●緊急時の家族の連絡先

名前	電話番号
名前	電話番号
名前	電話番号

●集合場所や避難場所

家族の集合場所
避難場所①
避難場所②

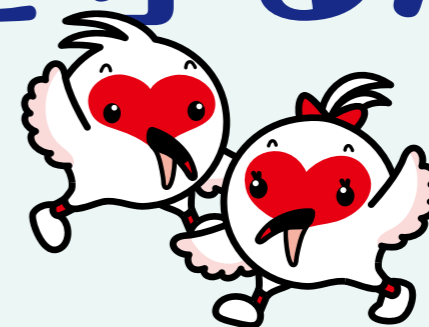
〒950-8570 新潟市中央区新光町 4-1

新潟県防災局防災企画課 TEL: 025-282-1606 E-mail: ngt130010@pref.niigata.lg.jp
 新潟県教育庁保健体育課 TEL: 025-280-5622 E-mail: ngt500070@pref.niigata.lg.jp

ホームページ: 新潟県防災ポータル <http://www.bousai.pref.niigata.jp/> ※災害に関する様々な情報を提供しています

災害から自分を守るために

小学生 中・高学年用



~「防災」を考えよう~

地震や津波、大雨などの「災害」は私たちの大切なものや、ときには命までうばっていくことがあります。「防災」とは、いつかやってくる「災害」にそなえて、ふだんからどのように行動したらよいか考え、準備することです。災害は、いつおきるかわかりません。新潟県でも大きな地震や洪水が発生したばかりです。いざというときに、落ちついて行動し、自分の身は自分で守れるように、「防災」について考えてみましょう。

災害がおきるとどうなる!?



家がこわれて住めなくなるかも!?



部屋の中の色々なものが倒れてくるかもしれないね



山やがけがくずれてくることもあるんだね



(写真提供:小千谷市)



川から水があふれて町が水びたしになってしまうかも!?



線路や道路がこわれて通れなくなるかも!?



危ないときや、家がこわれたら避難しないといけないね



地震発生!!そのときあなたは?

地震はいつ、どこで発生するか分からないので、いろいろな場面でどう行動すればいいのか、ふだんから考えておきましょう。
どんなときでも、「**落ちついて**」「**頭を守りながら**」「**危険なところからはなれる**」ことが大切です。



家にいるときは

- 家具からはなれてテーブルや机の下にかくれる
- ゆれが大きく動けないときは頭をかかえて小さくかがむ



- ねているときはベッドやふとんの下にかくれてまくらで頭を守る
- 倒れやすい物の近くでねない



- 屋根がわらやガラスなどが落ちてくることもあるので、あわてて外にとび出さない



- ゆれがおさまってから火やガスの始末をする
- ゆれている最中は危ないので無理に消そうとしない



学校にいるときは

- 教室にいたら机の下にもぐる
- 机の足をしっかりとぎって体を小さくする



- 廊下や階段にいたら近くの教室に入って机の下にもぐるか、ロッカーや窓ガラスからはなれて小さくかがむ



- 体育館やグラウンドにいたら落ちてくるものに注意しながら真ん中に集まり小さくかがむ



- 避難するときは先生のいうことをよく聞いてしたがう
- 避難の約束は「**おかしも**」(おさない・かけない・しゃべらない・もどらない)

登下校中や外にいるときは

- ブロックベいや自動販売機、電柱など危険なものからはなれる
- カバンなどの持ちもので頭を守る



- 乗り物に乗っていたら手すりなどにしっかりとつかまる
- 運転手のいうことを聞いてしたがう

- デパートやスーパーにいたら、お店の人のいうことを聞いて、落ち着いて行動する



- 海の近くでは大きな波がおそってくることもある(津波といいます)
- ゆれを感じたらすぐにその場からはなれてできるだけ高いところに逃げる

気をつけよう、はげしい雨や風!!

災害は地震だけではなく、大雨や台風もさまざまな被害をもたらすことがあります。これを風水害(ふうすいがい)といい、代表的なものが「洪水(こうずい)」と「土砂災害(どしゃさいがい)」です。



- 洪水…大雨の影響で川から水があふれて町や建物に被害を与えます



(写真提供: 三条市)

- 土砂災害…山やがけがくずれて土や石がすごい勢いでおそってきます



大雨や台風が近づいてきたら

地震とちがって、あるていど予測することができるので、事前に備えをしておきましょう。



- テレビやラジオの情報に注意する



- むやみに外にでかけない、危ない場所に近よらない



- 非常時の持ち出し品を用意しておく



- 早めに避難の準備をする